

住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して

NA・GO・MI

2011.02 第14号

前野かずみ県政レポート

発行 平成23年2月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606

なごみ



河川改修に地元・県・市の現場協議

ごあいさつ

皆様方におかれましては、ますますご健勝でお過ごしのことと、お慶び申し上げます。

日頃は、「前野かずみ」の県議会活動に深いご理解を賜り格別のご支援を頂いておりますことに、心からお礼を申し上げます。

県議会では、昨年来より生活文化・環境森林常任委員会委員長として議会運営に取り組まさせていただいております。

三重県はもの作りの県として大きな躍進を遂げてきましたが、リーマンショック以来、もの造り産業に陰りが見え始め一気に雇用・経済面で冷え込み、県民に多大な損失を与えることになってしまいました。

国・県・市をあげて雇用経済対策に取り組み、2年間で第1次対策から第13次対策まで約800億円を超える雇用経済対策を打ってきましたが大きな成果を得られておりません。今後も引き続き雇用経済対策に所管委員会として取り組まなければならないと心を引締め努力してまいります。



三重県議会議員 前野かずみ

社会基盤整備

○県道亀山白山線は、榊原4区地内で工事が始まりまし
た。



○上稲葉・羽野線は、茶屋橋区間の工事完了に伴い、引き
続き平成23年度は用地買収と工事が行われます。

○青山高原・公園線は昨年に引き続き継続事業として平
成23年度も工事が進みます。



○久居駅停車場津線の久居駅前から165
号に抜ける区間が完成し2月から道路利
用して頂けるようになりました。

○県道三宅・一身田停車場線の工事
着工は10数年来の懸案事項であ
りましたが、地元自治会連合会・県・
JRとの協議により、JR線の上を
高架橋で越える工事に22年度事
業で工事着工となりました。これよ
り、地元の皆様には、安全・安心に道
路利用して頂ける事となりました。



農業基盤整備

○河芸町「高砂地区」、芸濃町「北神山地区」から陳情を受け、地元改良区・県・市と協議を
進めて来た結果、農地パイプライン化事業がスタートしました。これは、水田に設置した
バルブにより自動的に水位を調整するシステムで、水管理の省力化を図った事業です。

工事着工に関しては経営体育成基盤整備事業を活用し、パイプライン事業だけにと
どまらず、高砂地区に於いては、パイプラインと道路舗装。北神山地区では、パイプライン
と暗渠パイプの敷設を行い、当初計画していた新農業水利システム保全対策事業以
上の実りある事業推進となりました。両地区の皆様の努力と、事業推進への熱意の結
果です。



○中山間地域(美里町草生)は、急傾斜地が多く、草
刈り・水路の維持管理が困難な地域です。農地
保全活動に熱心な皆さんと県・市を交えて中山間
地域の指定を受けるための勉強会を重ねてきまし
た。地元皆様の活動が認められ、その維持管理に
助成金の活用を受ける事となりました。



未来ある子供たちへ三重県を託す為に行動します。

治水事業

○平木地区内の松ヶ久保川砂防治水事業に
絡めた生活道路の整備が行われます。計
画では、砂防事業に向けて、工事用道路と
仮橋の建設を行い工事終了後撤去する事
となっていました。道路と橋をそのまま残
せないかと地元要望を受け、県・津市を交
え協議を行いました。その成果は、事業完
了後も道路として存続させ、橋も仮橋でな
く、本橋として建設し、長く地元の生活道
路として利用できるよう取り計らいました。
23年度から事業が開始されます。

河川改修事業

○北長野地内に於きましては、地元の皆様
の要望により、長野川の土砂撤去、岸壁改
修工事が現在着工しております。安全・安
心な生活には欠かせない河川改修事業と
なります。

○香良洲町自治会連合会の陳情を受けた香良洲橋改修の為の調査設
計が、22年度実施に向けての予算付けとなりました。

今後、30年以内には85%の確率で東海沖地震が起きると言
われておりますが、その為にも古川の河川改修は、香良洲町や雲出
伊倉津町の皆様にとっては、生命に係わる最重要課題であります。

香良洲橋改修に関連して、古川の河川改修事業を実施する事が
香良洲地区や雲出伊倉津地区の皆様の安全・安心を守る為には絶
対に必要な事業であります。



森町三井井堰上流土砂撤去現場を確認

○稲葉町・森町地内の長野川河床整備事業は、地元要望を受け堆積し
た土砂の搬出について地元自治会・県・津市と共に現場で協議の結
果土砂撤去にこぎつけました。

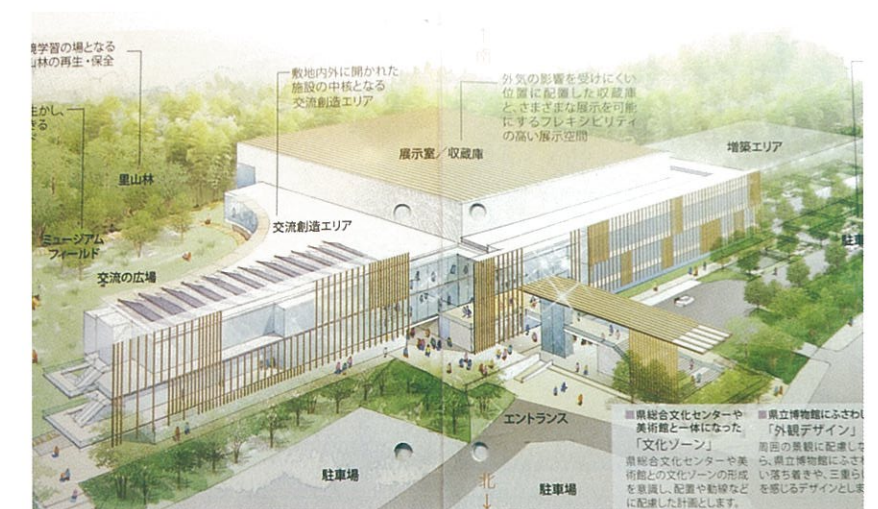
水利事業

○大仰木・石橋井土地改良区の雲出川にかか
る堰堤改修工事が課題となっております。堰
も現在壊れかかっており、屈強な大人でも厳
しい堰の開け閉めを高齢の方が行っている
のが現状であり、簡単に開け閉めできるよ
うな自動化が緊急に必要になっており早期工
事着工が望まれます。



県立博物館整備が始まった

○新県立博物館の建築が始まりました。
県総合文化センター周辺地域を三重の自然と歴史・文化の情報
発信機能を備えた文化交流ゾーンとして充実します。
生活文化部の常任委員会では、新県立博物館と県立図書館・
総合文化センターが一体となり人の往来が便利で楽しく成るよ
うな高架橋で結ばれるよう要望しています。



前野かずみは、**和み**ある県政を目指します

○医療

一志病院長の努力が実り黒字経営に

市町村合併により津市が誕生、広域行政を受け持つ県の役割は終わったとして、一志病院の津市への移管も含め民営化が打ち出されました。地元議員として健康福祉病院常任委員会に所属して一志病院のあるべき姿について議論をしてきました。

そうした中、病院長の努力と人望により、地域医療への取り組み姿勢に共感した優秀な若手研修医が集まり、その結果外来患者の病院に対する信頼・信用が増し黒字化へと転換しました。地域住民の皆様の病院存続に対する熱い思いが実った好例です。

知事の県立病院改革は後退

県立総合医療センター(四日市)の知事提案は、地方独立行政法人化により経営改善を行うと提案しましたが、新政みえ会派の反対で、野呂知事は、特定地方独立行政法人(特定地方独立行政法人は、職員の身分が公務員として移行される)に変更し、国へ申請する事としました。この改革後退により、当初計画の病院改革が続行できるのか疑問を呈すところです。

志摩病院は、指定管理者制度(民営化)の導入により民間への移行が決定

地域医療存続の為に、民営化をしてでも病院存続の地元要望が強く、指定管理制度導入となりました。

○グリッド地図の採用

防災面からグリッド地図の使用を議会質問で提案

グリッド地図とは、三重県をマス目状に細分化して座標のようなものを作成し、29市町が共通に使用できるようにする。この事によって万一の災害時でもその座標を示すことによって、いち早く災害位置確認ができるようになり、県外からの応援隊やボランティアも災害現場へ迷うことなく応援出動が出来る事となります。

○名松線

名松線存続に向けて、県・津市・JRによる協議が続けられてきましたが、災害箇所復旧に向けた協議が整い県と津市がそれぞれ5億円の事業費で治山事業と水路事業を行い、5年後の全面開通を目指して復旧工事に入ることが決まりました。

名松線は、約8億円の経費に対し、約4000万円の売り上で日本一の赤字路線となっています。風光明媚な田園地帯から丘陵山間地を駆け抜けるキハ11号ディーゼル機関車は、乗車をしていても、走る姿を見ているだけでも、地域に溶け込んだ絵に成る光景です。地域の生活の手段としてだけでは無く、地域活性化の為に広く人々に愛され親しまれる路線として活用されて行くためには、JRと民間活力による共同運行等も視野に入れ、ジョイフルトレイン(お座敷列車)などを走らせ、美杉地区の観光と合わせた対策を今度こそ本気で考えましよう、議会で提案をしてきました。

尚、美杉地区では、SLを走らせる会が作られ、地域の夢が膨らみ始めました。その夢実現に大いに期待したいと思っています。



前野かずみ事務所

県政なんでも
相談室として
事務所を開設
しています。
お気軽に
お立ち寄り下さい。

津市久居北口町438-31
Tel 059-254-6605
Fax 059-254-6606



至久居イスタ
R165号線
さがみさん
●サンクスさん
●雇用促進住宅
●津市久居庁舎
●郵便局
至23号線
N